

次期参議院比例代表(全国区)選挙 釜萯 敏(かまやち さとし) 候補者の推薦を決定

1 推薦候補者決定の経緯

日本医師連盟では、2024 年 1 月 30 日に開催された執行委員会において、2025 年（令和 7 年）7 月施行予定の第 27 回参議院比例代表選挙の日医連組織内推薦候補者として、「現日本医師会常任理事（2024 年 6 月 22 日から副会長） 釜萯 敏 氏」が決定されました。

これを受け北海道医師連盟では、令和 5 年度北海道医師連盟常任執行委員会及び執行委員会の書面開催により、「釜萯 敏 氏」を推薦候補者とする事について北海道医師連盟郡市代表者会にお諮りすることを決定し、令和 5 年度第 3 回北海道医師連盟郡市代表者会を書面開催した結果、全員一致で承認され、3 月 11 日に「釜萯 敏 氏」を北海道医師連盟の推薦候補者として決定いたしました。

同日付で道内郡市医師連盟委員長あて推薦決定の通知と各郡市医師連盟での推薦決定をお願いし、また、「釜萯 敏 氏」に対し、3 月 31 日に北海道医師連盟の推薦状を、松家委員長より手交しております。

2 後援会(支援)活動

今後、道医連では、日医連及び道内郡市医師連盟と連携し、釜萯 敏 氏の後援会活動における具体的な支援活動について協議の上実施して参りますが、サポーター名簿の獲得活動、ポスターや名刺などの広報物による広報活動、道医連および郡市医連役員による会員回りや集会等の企画開催などの後援会活動を強力に推進していく予定としておりますので、連盟員各位におかれては、都度、後援会活動に対する積極的なご支援とご協力をお願いいたします。

本紙には、「釜萯 敏 氏」のご挨拶、プロフィール、誰にでもできる！政治活動・後援会活動について掲載しておりますので、参考にいただければ幸いです。

北海道医師連盟ホームページ
<http://www.doiren.jp/>

日本医師連盟ホームページ
<http://www.nichiiren.jp/>



釜萯 敏 氏へ推薦状を手交（東京都内にて）



（北海道医師連盟常任執行委員 目黒順一）

釜萯 敏 氏を囲んで記念撮影（東京都内にて）

釜薙 敏（かまやち さとし）氏 ご挨拶

日本医師会 常任理事 **かまやち さとし**

※2024 年 6 月 22 日～日本医師会 副会長



拝啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

日頃よりご指導を賜り誠にありがとうございます。

さて、本年1月30日の日本医師連盟執行委員会において、来年7月に予定されます次期参議院選挙比例区(全国区)における組織を代表する推薦候補者としてのご決定をいただき、ありがとうございました。

私の最も訴えたいことは、国民の皆さまが安心して医療を受けられる体制を長続きさせることです。我が国の医療や介護の体制は諸外国に比べてとても優れています。しかし、これから人口減少、特に若年人口の減少が進むことを踏まえ、今の体制を維持していくことはとても困難であり、切迫した危機感を感じております。現在、様々な業種が人手不足であり、医療従事者を確保することが難しくなってきました。また、医師の働き方改革の影響も注意が必要です。今回の報酬改定をつぶさに見る中で、政治の場において、医療や介護を提供する側の窮状に、より多くの適切な理解を求めながら、最終的な決着に臨むためには、組織内候補が継続してその役割を担うことが不可欠であると強く感じました。

私は群馬県高崎市で父の小児科診療所を継承し地域医療に携わり、学校医をはじめ地域の多くの活動に参加しました。また医師会では高崎市医師会の役員や会長を、また群馬県医師会参与を経て、日本医師会常任理事を 10 年間務めさせていただきました。それらの経験を通じ、諸課題を解決するためには、解決の道筋を自身でよく考え、さまざまな意見に耳を傾けながら、常に全体を俯瞰して着地点を探ることが大切だと感じております。医師連盟の組織内候補が医師会の主張に沿うことは申すまでもありません。さらに、様々な関係者の合意形成のための説得力、共感を得る力を磨かなければなりません。最終的に解決の方向性が多くの国民の皆さまの理解と納得につながることを求められます。

先生方のご意見を伺いながら、我が国の医療や介護の体制を長続きさせることにより、国民の皆さまの健康や生命を守るために、全力を傾注し取り組んでまいります。私の今後の政治活動に対しまして、先生方のご指導・ご支援を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

敬具

令和 6 年 5 月

釜范 敏 (かまやち さとし) 氏 プロフィール

かまやち さとし (釜范 敏) プロフィール



生年月日 : 1953年(昭和28年)7月5日生 群馬県高崎市出身
 所属医師会 : 群馬県医師会
 開設医療機関 : 小泉小児科医院(群馬県高崎市)

学歴

1972年 東京教育大学附属 駒場高校(教駒) 現)筑波大学附属 駒場高校 卒業
 1972年 日本医科大学 医学部 医学科 入学
 1978年 日本医科大学 医学部 医学科 卒業

経歴

1978年 日本医科大学付属第一病院 小児科 入局
 1988年 小泉小児科医院 院長 (～現在)
 1997年 高崎市医師会 理事 (～2001年)
 2001年 高崎市医師会 副会長 (～2005年)
 2005年 高崎市医師会 会長 (～2011年)
 2011年 群馬県医師会 参与 (～現在)
 2014年 日本医師会 常任理事 (～2024年)
 2020年 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 構成員 (～2020年)
 2020年 新型コロナウイルス感染症対策分科会 構成員 (～2023年)
 2020年 新型コロナウイルスアドバイザーボード 構成員 (～2024年)
 2023年 新型コロナウイルス等対策推進会議 委員 (～2024年)
 2024年 日本医師会 副会長 (2024年6月22日～現在)

免許・資格など

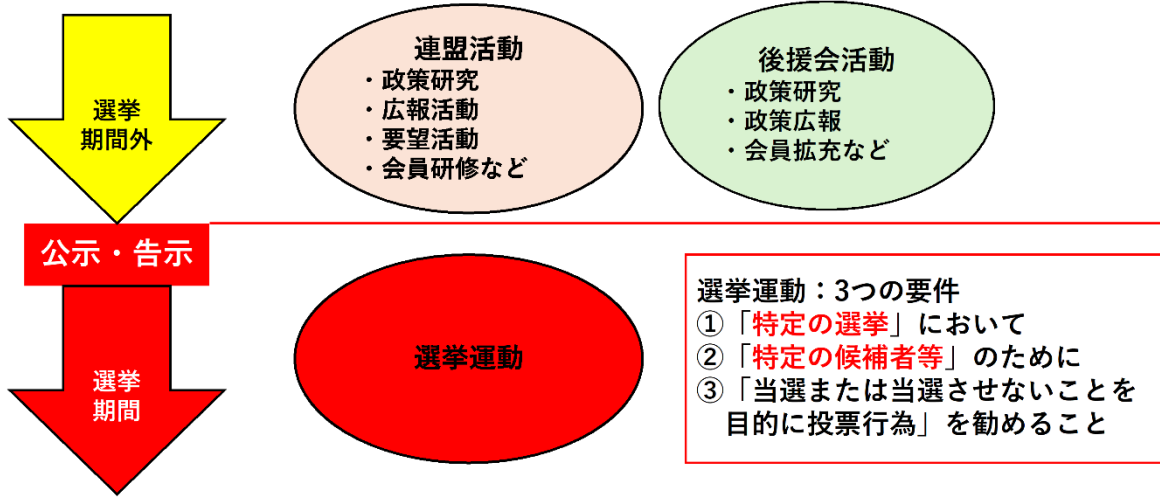
医師免許、医学博士
 日本小児科学会、日本小児科医会、日本小児神経学会 会員
 たかさき春まつり実行委員長

その他

趣味: 阿波踊り(上州高崎)ですけ連2001年より所属)、茶道
 家族: 妻、一女、孫ひとり

2024年6月22日現在

誰にでもできる！ **政治活動・後援会活動について**
(参議院比例代表 (全国比例区))



公示前にできる活動 (政治活動・後援会活動)

※上記、選挙運動の3つの要件を満たすような活動は、事前運動として公示前は禁止されています。

- ① 推薦決定したことを会員へお知らせする。
 - ・ 推薦した候補 (予定) 者について、推薦決定の事実と政策を会報や機関紙、ホームページに載せる。(通常の方法・手段で)
 - ・ 候補 (予定) 者のホームページをリンクする。
 - ② ポスターを貼る。
 - ・ 医療機関、自宅、関係業者などの建物に候補 (予定) 者の室内用ポスターを貼り出す。
 - ③ リーフレットの配布とサポーター名簿の協力。
 - ・ 家族、医療機関の職員、患者さんや友人、知人へリーフレットや名刺を後援会の討議資料として配付し、候補 (予定) 者の政策や今の日本の医療に関する問題について説明し理解してもらい、サポーター名簿の協力をお願いする。
 - ④ 参議院比例代表 (全国比例区) 選挙の投票方法について周知する。※下部の図参照
 - ・ 必ず候補 (予定) 者の「個人名 (候補者名)」を投票用紙に記載し、投票することを説明する。
 - ・ 政党名での投票は、応援する「候補者」の得票とはなりません。
 - ⑤ 職場の朝礼や会議の際に職員に対して、候補 (予定) 者の政策について説明する。
 - ⑥ 医師連盟の役員や事務局が手分けして、一般会員を訪問する。
 - ・ 訪問先では、候補 (予定) 者の政策についてお話をし、理解を深めてもらう。
 - ・ また、室内ポスターの掲示がなされていない医療機関では、掲示のお願いも併せて行う。
- ※以上、一部の活動を列挙。

参議院選挙の投票について(参考)

選挙制度解説コーナー！ 参議院選挙のしくみと投票方法

参議院選挙は各都道府県の区域を選挙区とした「地方選挙区」と全国区の「全国比例区」があります

1 枚目 地方選挙区の投票

お住まいの都道府県の選挙区
「候補者名」
 を書いて投票します

2 枚目 全国比例区の投票

全国どこにお住まいでも各政党の「**候補者名**」または「**政党名**」を書いて投票します
 同じ政党の中では、「**候補者名**」の**獲得票数が多い順**に当選します

2枚目の全国比例区の投票は
「候補者名」で投票を！

重要です。